

会議の概要（議事録）

会 議 の 名 称	(番号) 1－39	令和7年度第1回墨田区地域自立支援協議会議事要旨		
開 催 日 時	令和7年6月5日（木） 午後2時00分から午後3時00分まで			
開 催 場 所	すみだリバーサイドホール イベントホール			
出 席 者 数	24人 【委員】 柳田 正明、庄司 道子、椎名 美恵子、三宅 裕、山中 登、篠木 修子、折笠 春江、 菊池 昌子、吉田 朋之、深谷 純一、川島 美津子、伊東 美奈子、遠藤 稔、 河野 元毅、武川 つつみ、青柳 吉季、渡瀬 博俊 【事務局】 障害者福祉課長、保健予防課長、障害者福祉課相談係長及び主査1名、 庶務係主査2名、保健予防課保健予防係長			
会 議 の 公 開 (傍 聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0人	
議 題	1 開会 【議題】 2 辞退に伴う新たな委員の委嘱、任命及び紹介について 3 墨田区地域自立支援協議会について (墨田区障害施策の会議体の関係について) 4 各専門部会について (1) 精神部会 (2) 地域生活支援拠点部会 5 区からの報告 (1) 事業者に対する適切な運営の指導等について (2) 墨田区基幹相談支援センター相談実績（令和6年度） (3) 区内グループホームの定員状況について (4) 墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等について (5) 令和7年6月現時点での今後の施設建設予定について 6 閉会			
配 付 資 料	【資料1－1】 墨田区地域自立支援協議会委員名簿 【資料1－2】 墨田区地域自立支援協議会に関する要綱 【資料 2】 墨田区障害施策の会議体関係図 【資料3－1】 令和7年度 墨田区地域自立支援協議会精神部会について 【資料3－2】 令和7年度 墨田区地域自立支援協議会地域生活支援拠点部会について 【資料 4】 事業者に対する適切な運営の指導等について 【資料5－1】 墨田区基幹相談支援センター相談実績（令和6年度）			

	【資料５－２】 調整等が難しかったケースの共有 【資料 ６】 区内グループホームの定員状況について 【資料 ７】 墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等について 【資料 ８】 令和７年６月現時点での今後の施設建設予定について 【資料 ９】 御意見用紙
会 議 概 要	１ 開会 【議題】 ２ 辞退に伴う新たな委員の委嘱、任命及び紹介について （事務局）教育分野から２名の新たな委員の委嘱及び紹介、異動に伴う１名の行政委員の紹介【資料１－１、１－２】 ３ 墨田区地域自立支援協議会について （墨田区障害施策の会議体の関係について） （事務局）墨田区障害施策の会議体の関係についての説明【資料２】 【主な意見】 （Ａ委員） 墨田区医療的ケア児に関する協議会についてお伺いしたい。行政職員６名の中に保健師はいるか。 （事務局）委員の構成の中に保健師はいない。 （Ａ委員）庁内連携会議にも保健師はいないのか。 （事務局） 庁内連携会議は、管理職で構成された会議体であるため、いない。今後、事例検討を行う際は、検討したい。 （Ａ委員） 現在、特別支援学校の医療ケア児のバス送迎は、訪問看護ステーション協会が東京都から受託されている。直接かかわる者も、こういう検討する場にも必要かと思ひ質問させていただいた。 ４ 各専門部会について 精神部会、続いて地域生活支援拠点部会についての説明 （１）精神部会【資料３－１】 （Ｂ委員） 精神部会の部会長をさせていただいている。精神部会は、令和６年度に置かれた。精神障害者特有の課題解決に向けて、意見をまとめ、協議会に上げるために執り行っていきたいと考えている。医療、障害者の家族会、サービス事業所、計画相談支援の事業所、指定一般の相談支援事業所、地域移行の広域アドバイザーや行政の委員体制になっている。７月１１日に部会を開催予定である。精神障害に対応した地域の包括ケアシステムの構築に向けた地域の課題、地域移行の医療機関と地域の関係者の連携について話し合う予定になっている。第２回については来年１月か２月に地域活動センターⅠ型と自立生活体験事業について、加えて事例検討をしたいと思っている。

(2) 地域生活支援拠点部会【資料３－２】

(Ｃ委員)

それでは地域生活支援拠点部会について説明する。資料の３－２をご覧ください。この部会については、趣旨１のとおりであるが、地域の実情に応じた整備を念頭に地域全体を支えるサービス提供体制の構築を検討している。今回、本協議会に報告することになる。今年度まだこれからということになるが、ご覧の２のメンバーで３月まで、４にある地域生活支援拠点等の面的整備、登録制度を大きな案件として検討していく予定である。

５ 区からの報告

(1) 事業者に対する適切な運営の指導等について

(事務局) 事業者に対する適切な運営の指導等についての説明【資料４】

(2) 墨田区基幹相談支援センター相談実績（令和６年度）

(事務局) 墨田区基幹相談支援センター相談実績令和６年度についての説明【資料５－１】

本センターで受けた事例で調整が難しかったケースＡ・Ｂについての説明【資料５－２】

【主な意見】 ——事例検討のため未記載——

(会長)

皆様に協議していただき、活用できる社会資源や経験などケース支援に役立てるとともに、その情報を共有していただきたい。

(3) 区内グループホームの定員状況について

(事務局) 区内グループホームの定員状況についての説明【資料６】

(会長)

前回のご指摘があった内容についての定員の数である。これについてご確認、ご質問はあるか。

【主な意見】

(Ｆ委員) 表の中に障害種別がないので知りたい。

(事務局)

１から２０番までのグループホームが知的障害、２２が身体障害、それ以外は、精神障害と知的障害の両方である。なお、１５・１６・１７については男性のみが対象となっている。

(会長)

できれば次の機会には、各施設の男女で定員が決まっているなどはわからないか。

(事務局)

あまり男女比率は聞かないが。資料の中では、２０番のホームきらきら星については女性の定員数が決まっている。フロアで男女を分けるため決まっていると思われる。

(Ｇ委員)

親の高齢化に伴いグループホームに入りたいが空きがないという相談がたくさん来る。最近、ある方がグループホームに入ったのだが、結局、栃木県であった。区内に何か所かあるグループホームは定員が一杯だと認識している。地方は空きがあるので勧められ、親は自分の体も大変になり、子どもを看れず、泣く泣くグループホームにお願いするという形が多い。とりあえずグループホームの定員が一杯なのか教えてほしい。

(事務局)

区内のグループホームについては、空きがない状況である。ちなみに3月の給付ベースの実績では、279件となっている。区内の定員合計は166名であり、その差については、近隣のグループホームに入所していると考えられる。

(E委員)

グループホームの空きがないと聞いた。先ほどのケースA・Bでも短期入所やレスパイトが出てきた。人工呼吸器をつけている方を預かってくれる施設は限られている。府中療育センター、北療育センター、東部療育センターは、4月以降、新規は受け付けない。介護職員の減少により、半分は、5月で断られている。そういう現状なので、本当に入所できる人がいない。新しい人が入れない。ショートステイも入れない。会長と一緒に昔からお願いしている。国は新しい施設を作らないという話はあるが、東京都は、各区に一つは入所施設を作ってもいいと言っている。墨田区には入所施設はない。東京都でないのは2区だけでその一つが墨田区である。ぜひ、複合で知的障害、身体の高度の人も入れる入所施設を、10年計画でもいいので作って欲しい、よろしく願いたい。

(会長)

今日の会議では、ご要望という形でしかお伺いできないが、そういう意見も議論しているかということ、行政に言わないと始まっていかない。これは引き続き言っていく必要があるし、この現状を前回の委員会に出てきた定員数の状況や数字だけでなく先ほどのようなケース、対応自体に困るということを確認し、少しでも現状で何かできるのか探ることを併せてやっていくこととなる。

(4) 墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等について

(事務局) 墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等についての説明【資料7】

(会長)

ご質問、ご意見はあるか、次の計画に向けて重要な調査である。施策推進協議会で主にやることかと思うが、いままでの調査結果があり、それを継続的に横に見るようなことも重要であるが、医療的ケア児も含め、新たに着目され、重要だと認識されてきたことの調査がしっかり入っているか、把握できるかということなど、お気づきの点があれば、今日この場でなくてもよいのでニーズをお伝えいただきたい。私が見たところ、強度行動障害の緊急度が上がってきている。その実態や医療ケア児、その把握の仕方が十分かどうかのご意見は必要かと思う。

(H委員)

前回の調査の項目を比較するとほぼ同じかと感じる。

着任し、相談支援のニーズに対して事業所の数が、もう少し欲しいという話を耳

	にする。セルフプランで対応している高校３年生も多いと聞いている。先ほどのケースＢもそうだが、学齢期から相談支援がしっかり入っていると、成人期のつなぎの時にケースの引継ぎがスムーズにいくと感じる。調査の中で、相談支援がどのくらい関わっているか、墨田区の障害計画をみた。現在の実績があったが、ベースになる相談支援の件数が少ない中で、その件数をベースに見込みを立てている。それでは足りないと思う。それが視覚として見える調査結果であればよいと感じた。 (5) 令和７年６月現時点での今後の施設建設予定について (事務局) 令和７年６月現時点での今後の施設建設予定についての説明【資料８】 閉会 (会長) 本日、時間の制約もあることから御意見用紙をご記入いただきご指摘いただけたらありがたい。まだ数分あるので、この場で確認したいという委員がおられたらご発言をお願いしたい。〔なし〕 御意見用紙を活用していただきたい。 それでは、私からお話ししたい。２３区の某区では、通所移転の仮住まいに小学校を活用しており、仕事で見学に行った。学校は、思いのほか広く使いやすいと話の中で出た。特に強度障害の方だとある程度スペースがないと支援が厳しい。そういう方向性もある。墨田区の小学校の状況を把握はしていないが、数日前に経験したのでお伝えした。それでは、会を閉める前に副会長にもご発言をお願いしたい。 (副会長) 個人的にはもっとお聞きしたいことがあるが、御意見用紙に記入して提出したいと思う。皆さんにもご提出をお願いしたい。
所 管 課	墨田区福祉部障害者福祉課 墨田区障害者基幹相談支援センター (電話 ０３－５６０８－１５９６)